

朝会のあと、6年生の女の子たちにちょっとした話が合って声をかけると6、7人ほどが集まってきました。いろいろとやり取りをしていると気づいたことがあります。子どもたちのわたしを見る目は、お年寄りに対する目なのです。いたわりというか、やさしさというか……。子どもの人を見る目は相手によって変わります。担任、若い教師、家族、お客さま、地域の方々。わたしもそんな存在になったのだなあ。ならば、若ぶらず、年寄りの自覚を持って、年老いた者ができる話を子どもたちに伝えていかなければいけません。そうしないと、子どもたちの心は、面白おかしい一時の興味とは別に、ますます離れていくのでしょうか。わたしは、どんな目で子どもを見ればいいのか。きびしさ……。やはりやさしさなのでしょう。そして、わたしは、どんな目で自分の子を見ているのでしょうか。

今年も“おやゆび姫”の皆さんに来ていただいて、人形劇を見せていただきました。「ジオジオのかんむり」。みんなあつという間にお話の世界に入り込み、ハラハラドキドキ、ときどき笑い。あつという間の15分間でした。あ～楽しかった。来年も待ってます！



この春の衣替えの時期には、40代から着続けている服を大処分しようと思います。



クラブ活動でお世話になっている地域の皆さんをお招きして**クラブ発表会**をしました。一年間で学んだことや楽しかったことを、実演や感想などで上手に発表してくれました。サポーターの皆さまありがとうございました。来年度もよろしくお願ひします。



入学説明会をしている間、新入学生たちは、5年生と一緒に楽しく遊びました。



今回の南っ子カップは**長縄跳び**。うまく跳べなかった子には自信をつけてあげてくださいね。



体力アップサポーターの友定先生（県立農業高校）に**バレーボール**を教えていただきました。やっぱりゲームは楽しいね！